

様式第 5 号（教育実習実施計画に関する書類）

教 育 実 習 等 実 施 計 画	
1	教育実習等の内容及び成績評価等
①	教育実習等の時期 4 年次 5 月～1 1 月
②	教育実習等の実習期間・総時間数 高等学校における実習 2 週間（7 2 時間）
③	実習校の確保の方法 本学系列校「中部大学第一高等学校」と「中部大学春日丘高等学校」に依頼したところ、教育実習への協力が得られることになった。
④	実習内容 授業参観 2 2 時間 授業担当 8 時間（研究授業 1 時間、反省会 3 時間を含む） 教材研究 4 0 時間 学校運営・学校全体についての講義（校長講話） 2 時間 その他（放課後の課外活動の指導、翌日の準備等）
⑤	実習生に対する指導の方法 事前指導において、実習中には「教育実習記録」を毎日克明に記録し、校長や担当教員に講評をいただくこと、およびその講評や指摘を翌日からの教育活動へ活かすように指導する。 また、実習期間中には、本学の担当教員（指導教授）またはそれらに代わる専任教員が、研究授業を中心に実習校を訪問し、実習校と連携をとりつつ、学生への助言・指導をする。 現場実習後の事後指導では、学生に実習の振り返りと反省を促し、講話、観察や参加、授業実践の経験から得られた知見を報告書にまとめる。一部の学生には 3 年生を対象に実習報告会で発表させる。 振り返りの中で発見した事などを、教職実践演習での指導につなげる。
⑥	実習の成績評価（評価の基準及び方法） ※ 評価項目表、評価シート等がある場合は、本計画書に添付すること。 教職課程専任教員が実習校からの実習評価を考慮し、事前指導への参加状況や実習中に作成した学習指導案、教材や、教育実習記録等、また事後指導でまとめた報告書を参考に総合的に成績評価を行う。 実習校による実習評価は、生徒指導、学習指導、実習態度の 3 項目について評価し、あわせて総合評価をつける。
2	事前及び事後の指導の内容等
①	時期及び時間数 事前指導 3 年次の 1 1 月～4 年次 5 月に 1 5 時間相当。 事後指導 教育実習終了後から、5 時間相当実施する。
②	内容（具体的な指導項目） 事前指導 主に教職課程専任教員が、オリエンテーションの形式で実施する。 ・教育実習の意義、目的 ・教育実習の具体的な活動内容 ・教育実習の一日、一般的注意事項

- ・教科指導（保健室経営、食に関する指導）の準備と心得
- ・学習指導案の書き方
- ・教科外指導の心得
- ・「教育実習記録」の書き方
- ・教育実習報告をきく。
- ・教育実習に向けて一目標の設定、事前準備、事後への見通し

事後指導

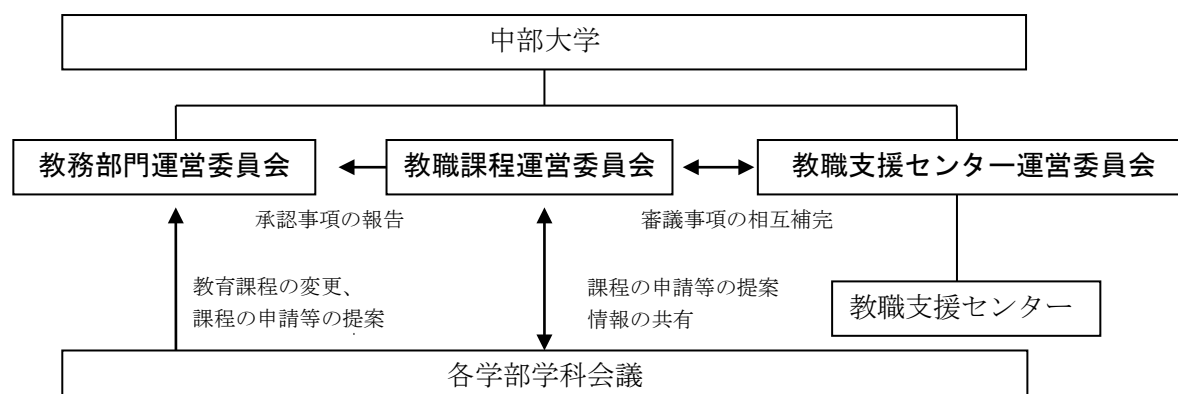
実習直後に、実習中の資料の整理、報告書の作成の指導を行なう。また、教職課程の教員、指導教授などが教育実習記録や学習指導案等をもとに、必要に応じ学生への面談・指導を実施する。

3 教育実習に関して連絡調整等を行う委員会・協議会等（以下「委員会等」という。）

① 大学内の各学部・学科等との連絡調整を行う委員会等

- ・委員会等の名称
教職課程運営委員会
- ・委員会等の構成員（役職・人数など）
委員長1名（教務部長補佐）、副委員長1名（教職課程主任）、委員28名（教職課程専任教員4名、各学科担当教員21名、教職支援センター事務課長1名、教務支援課長1名、人間力創成総合教育センター事務室課長1名）、アドバイザー1名（人間力創成総合教育センター長）、庶務2名（事務員）
- ・委員会等の運営方法
教職課程運営委員会は、学長・副学長のもとに、教務部長補佐を委員長として、委員を招集する。教育実習に関する事項については、実習計画の策定、実習生の事前訪問および担当教員の研究授業への参加計画、実習の事前・事後指導計画などについて審議し、各学部・学科との連絡調整を図っている。

【委員会の組織図】



② 大学外の関係機関（例：都道府県及び市区町村教育委員会など）との連絡調整等を行う委員会等（※学校体験活動を含む場合は、大学と学校との連携体制についても記載すること。）

- ・ 委員会等の名称
教職課程運営委員会、及び、教職支援センター

- ・ 委員会等の構成員（役職・人数など）

【教職課程運営委員会】

委員長 1 名（教職支援センター長）、委員 5 名（学部長 4 名、教職課程教育科主任 1 名）、学長指名（教員 1 名、教職支援センター課長 1 名）

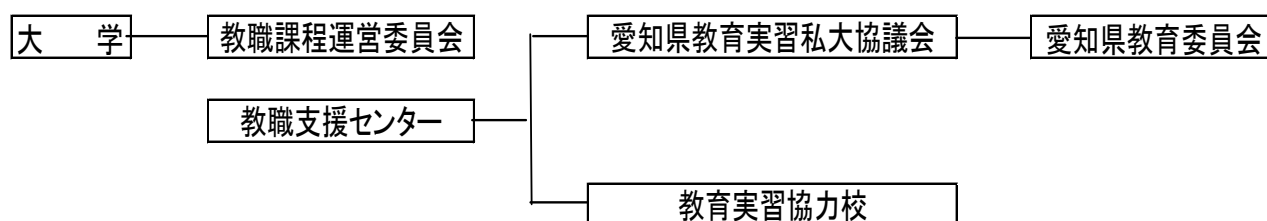
【教職支援センター】

教職支援センター長 1 名（教務部長補佐）、事務員

- ・ 委員会等の運営方法

教職課程運営委員会は、学長・副学長のもとに、教務部長補佐を委員長として、委員を招集する。教育実習に関する事項については、実習計画の策定、実習生の事前訪問および担当教員の研究授業への参加計画、実習の事前・事後指導計画などについて審議し、各学部・学科との連絡調整を図っている。

【委員会の組織図】



4 教育実習の受講資格

- 1) 教員志望者であること。
- 2) 4年生であること
(3年生から4年生への進級要件として、卒業に必要な単位数(「教科に関する専門的事項」も含む)のうち100単位が必要)
- 3) 原則として、3年次秋学期までに開講される「各教科の指導法及び教育の基礎的理解に関する科目等」の必修科目の単位を取得済であること。
- 4) 学科が定める教職課程の履修継続条件を満たしていること。

5 実習校

教育実習	体験活動	学級数の合計	高等学校82学級
○	×	学校名	中部大学第一高等学校（愛知県日進市三本木町細廻間425番地） 学級数：38 生徒数：1,372人
		教員数	66人（内訳）教諭55人、助教諭0人、講師9人、養護教諭2人、養護助教諭0人、栄養教諭0人
○	×	学校名	中部大学春日丘高等学校（愛知県春日井市松本町1105番地） 学級数：44 生徒数：1,602人
		教員数	91人（内訳）教諭72人、助教諭0人、講師17人、養護教諭2人、養護助教諭0人、栄養教諭0人

教育実習受入承諾書

令和 4年 2月10日

中 部 大 学 長

竹 内 芳 美 殿

中部大学第一高等学校

校長 太 田 博 道

令和8年度より貴大学の学生の教育実習を本校において実施すること並びに本校教員を実習指導に当たらせることを承諾します。

教育実習受入承諾書

令和 3 年 1 2 月 2 1 日

中 部 大 学 長

竹 内 芳 美 殿

中部大学春日丘高等学校

校長 二 村 啓

令和 8 年度より貴大学の学生の教育実習を本校において実施すること並びに本校教員を実習指導に当たらせることを承諾します。